

ほおじろ



2025.NO

154

一武小伝統の杉門



目次

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ・第3回定例会・臨時会……………2 | ・特集：消防団との意見交換会 …… 13 |
| ・一般質問一覧……………3・4 | ・常任委員会研修報告……………14 |
| ・一般質問……………5～12 | ・人吉球磨広域組合議会研修報告 …… 15 |
| | ・議会のうごき・広報特別委員会研修報告 …… 16 |

令和7年

第3回

定例会
臨時会

令和6年度各会計決算の認定

補正予算 5,934万9千円（一般会計）を可決

小中学校の屋内運動場空調設備設計業務、
住宅リフォーム補助金など

令和7年第3回定例会は、9月9日から18日までの10日間の日程で行われ、令和6年度各会計決算認定6件、令和7年度各会計補正予算6件、条例改正2件、契約1件、報告1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。また、第2回定例会で厚生文教経済常任委員会（竹田委員長）に付託され、継続審査となっていた請願1件については「趣旨採択」とした。

なお、今回の一般質問には、8人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例制定・改正等

① 錦町議会議員及び錦町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

3年に1度見直される公職選挙法施行令の改正に伴い、公営単価の基準額を改めるもの。

② 錦町の行政財産及び公の施設使用料条例の一部を改正する条例

前納となっている施設使用料について、天候に左右される屋外施設は、使用後に納付する事も可能となるよう改めるもの。

契約

① 町道松里永野線（黒辺田野橋）橋梁上部工2期及び条件護岸工事請負契約について

契約金額

100,980,000円

契約の相手方

錦町大字一武2745番地2

株式会社イトウ建設

報告

① 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

請願（趣旨採択）

① 人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願

※「趣旨採択」とは…

請願の趣旨には賛成だが、実現が難しい場合に「趣旨採択」という決定をすること。

第4回臨時会

令和7年8月4日に行われ、一般会計の補正予算（1件）が上程され、原案のとおり可決した。

なお、補正（6,61

5万5千円）の主な内容は、国の定額減税の不足額給付金事業の他、町道改良事業、各種競技大会出場補助金など。

各常任委員会による令和6年度各会計決算調査



厚生文教経済常任委員会



総務建設常任委員会

9月10日から16日（13日は休日のため休会）の4日間、各常任委員会で決算に関する調査を実施した。

令和7年第3回 錦町議会定例会一般質問一覧①

議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
岡田議員 (P5)	くま川鉄道と産交バスの利用状況と将来像は	① 鉄道とバスの利用状況は。 ② 利用者増の対策は。 ③ 少子化の中、郡外の高校に行かれる子ども達も多い。どのように捉えているのか。
	本町職員の副業を認めてはどうか	① 職員の就業規程は。 ② 人手不足が深刻化している。特に主幹産業である農業従事者の減と高齢化は深刻であり、人材確保が必要だ。
早田議員 (P6)	児童・生徒の登下校時の暑さ対策について	① 学校内での暑さ対策は。(教室・体育館) ② 徒歩での登下校時において、日傘使用を推進してはどうか。 ③ 暑い時期での登校に、ポロシャツ等を認めることはできないのか。(中学校)
	犯罪被害者等支援条例の制定について	① 条例制定の考えは。 ② 防犯カメラ設置の補助金制度新設は。
	木上、一武各小学校の150周年記念行事への補助金は	① 創立150周年記念行事が計画されているが、資金的な補助はするのか。
丸小野議員 (P7)	学校教育について	① 学校教育の現状。 ② 学校教育の課題、問題点。 ③ 学校教育のこれから、未来について。
谷口議員 (P8)	大規模災害等での確実な通信確保について	① 現在の庁舎、公用車、消防団の機器整備状況について。 ② 令和6年第1回定例会、3番議員の一般質問、回答の通信手段の検討のその後について。 ③ 役場内アマチュア無線クラブの再開局要望と他自治体無線クラブ等の連携について。 ④ 地域防災計画への町内アマチュア無線局の把握と組織化を組み込みできないか。
	国民保護法に基づく町の整備状況について	① 国民保護協議会の運営状況について、国民保護対策本部等、訓練は行われているのか。
	球磨川河川敷のイノシシ等の駆除について	① 鳥獣保護管理法が一部改正された。計画的な駆除実施ができないか。
高田議員 (P9)	当町の地域医療の現状は	① 長年、木上地区で開院されていた医院が閉院されたが、それに伴い地域医療の影響はどのように考えるか。
	人吉海軍航空基地資料館の現状は	① 指定管理委託料の今後は。 ② 5年間にわたり委託料の支払いとなっている。今後2年半の支払いとなっているが現状は。
	錦町の誘致企業の現状は	① 経営の状況は。

令和7年第3回 錦町議会定例会一般質問一覧②

議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
竹田議員 (P10)	事業承継支援について	① 現在の事業承継支援の取組経緯は。 ② 錦町の取組の進行状況は。 ③ 錦町の支援メニューの創設。セミナー、個別相談会など、町内広報誌やあいねっと放送利用で周知をお願いしたいが。
	町道松里線について	① 交通量、安全確認は出来ているか。 ② 速度注意の看板設置は。 ③ かみきり屋前の交差点について、双方一時停止に出来ないか。 ④ 錦中学校旧正門駐車場について、学校、保護者にて検討を。
	健康管理 「自分の健康は自分から」	① 特定健診の対象者、受診率は。 ② 高齢者の予防接種の現状は。 ③ 带状疱疹について。
吉田議員 (P11)	防災と災害発生時に選ばれる町について	① 国道219号歩道に覆いかぶさる樹木伐採について。 (16分館内原地区からイスミ錦店前まで) ② 災害時の対応について。 ・ 体育館冷暖房新設の考えは。 ・ 大王原住宅の入居状況と災害時の受け入れ施設としての確保の考えは。
	農業の振興と渇水対策について	① 圃場の大区画化推進の計画は。 ② 南部地域農地の水不足対策について。 ・ ため池新設の考えは。(中球磨土地改良区近隣) ・ 水無川上流に農業利水ダムの考えは。
	町民の安心安全について	① 公務員のなり手不足と聞く町の状況について。 ・ 職員の年休取得状況は。 ・ 残業が多くないか。 ・ 職員給与(球磨郡・県内)の額は、本町は何番目。 ② 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の本町の活用状況について。 ・ 高齢者、子育て世代に重点的に活用できないか。 ③ 高額療養費制度について。
石松議員 (P12)	図書館の整備と複合施設の計画は	① 図書館の蔵書の状況、登録者数(利用状況)、貸出冊数について。 ② 図書館の現状と課題について。 (蔵書能力、開架冊数、年間増加冊数、備品購入費の決定について) ③ 電子図書館の導入、Wi-Fiの導入は。 ④ 学校、地域、各課との連携と利用者増に向けた取組は。 ⑤ 複合施設の建設計画は。 ⑥ 将来的な展望についての考えは。
	空き家対策について	① 錦町の空き家の現状について。 (特定空き家と管理不全空き家の数) ② 指導、助言、命令などの行政として今後の対応について。(地域住民への啓発、相談体制の強化) ③ 空き家バンクの現状と今後の考えは。 (錦町総合計画より)

一般質問

今回は8人が登壇
(要約掲載)

町政のここが聞きたい！



公共交通の将来像をどう描く

岡田

9月11日付の新聞記事で、県立高校の将来像について答甲が出された。

内容は、熊本県下の公立高校50校中、52学級を削減するというものであり、その中には、県で二年度から私立高校の学費無償化が行われる予定と聞いている。高校



おかだ たけし 議員
岡田 武志

生の通学手段としての鉄道、バスの現状と将来像をどう見ているか。

総務課

現在、くま川鉄道では、代替バスを含めた数値になるが、令和6年度で約90万7千人であり、1日平均2千500人で、町内三駅に限れば13万455人で、1日平均358人である。産交バスでは木上経由、西村経由、合せて年間7万8821人で、1日平均216人、町内では1日平均23人の利用である。

岡田

この数値は延べ人数であるが、人口減少傾向の中、町としての対策は。

町長

鉄道、バスの利用者の8割が高校生であり、将来的に非常に心配している。町としては、子育てに力を入れ生活、学習に、さまざまな助成を行なっていく。

岡田

私は以前から、球磨中央高校前バス停問題を指摘してきた。バス停は学校から遠く、日陰もなく、昼間の気温が36℃であり、体感では40℃を超えていると思う。バスは1時間に1本程度で、これでは利用する高校生は少ない。炎天下の中で1時間も立っていたら倒れてしまう。対策は。



炎天下のバス停

総務課

現在、公共交通の利便性向上のため、バス停の肥後西村駅敷地への移転、イオン錦店敷地内へのバス停の設置の要望書を産交バスに提出している。

岡田

いろいろな問題を解決しなければ、次に進むことは出来ないのは、承知している。私達を取り巻く環境は刻々と変化している。今やらなければならぬ事もある。スピード感のある対応が必要だ。副町長も子供さんがおられると思うが、どう考える。

副町長

私も一番下の子が5年生であり、子育て最中です。子供達のために、職務に努め、また子供達には、さまざまな経験を積みませながら、本人の行きたい道を見つけてほしいと思う。

職員の副業を認めては

総務課

職員が兼業を通じて地域を知り人と交わり、そこで得た学びを職務遂行に生かすことは理解できるが、現時点で一律に認める考えは無い。

岡田

本町の人口の約1%が職員数であるが、全国的にも副業を認める動きもある。特に農業分野での人手不足は深刻だ。やる気のある職員もいると思う。今後の検討課題にして頂きたい。

令和8、9年度に、町内各小中学校 体育館へ空調設備整備事業計画あり



わさだ かずひこ
早田 和彦 議員

学校内での暑さ対策について

早田 今年の暑さは災害級と報道もされている。学校内での暑さ対策は。

町長 今回の議案75号において、小中学校屋内運動場の空調設備事業を可決いただいた。令和8、9年度に小中学校の屋内の体育館を整備する。

教育振興課

教室ではエアコンが設置されており、エアコンでの空調調節を行い、扇風機による

空気循環を行っている。体育館ではエアコンが設置されていないので、窓開け換気を行うとともに、大型扇風機を活用し空気循環を行っているが利用している。

徒歩での登下校時に日傘使用を

早田 下校時は、特に暑い午後3時頃、炎天下を子供たちは40分も歩いて帰ってくる。顔を赤くして帰宅している。その時間帯の気温は、日向で39度程あり、日陰に比べると5度以上の気温差がある。そこで、登下校時の日傘使用を推進してはどうか。

教育振興課

暑さ対策、熱中症予防の一環として良い方法ではないかと考える。教育委員会としては、児童生徒が様々な場面での判断する主体制を育むためにも、児童生徒及び保護者の意思決定を尊重する方法を取っていければ良

いと考える。登下校時の暑さ対策、熱中症予防としての対応を、学校長と協議していく。

早田 是非、推進を図って頂きたい。



炎天下での日陰と日向

木上・一武小学校の150周年記念行事への補助金は

早田 木上・一武小学校では、150周年記念行事が計画されているが、資金が不足していると聞いている。町として資金補助をするのかどうか。

教育振興課

それぞれの保護者会や学校で記念行事の計画が進められている。寄付金募集の状況や資金不足等があるようであ

ば、補助金の支援も検討したい。

町長 いろんな事業は、やはり最後は資金になる。議員にもお願いしながら支援をしていきたい。

犯罪被害者等支援条例の制定の予定は

早田 自治体にも犯罪被害者等からの相談が増えてきている。住民に最つとも近い基礎自治体として支援の充実が求められていると思う。そういった被害者の方々を守るためにも、この条例を制定する必要があると思うが、犯罪被害者等支援条例の制定の予定はあるか。

住民福祉課

人吉球磨管内では、多良木町が4月から施行されている。

犯罪被害者等に対する支援に関して、地域の状況に応じた政策を策定、実施する事が市町村の責務であると規定されている。制定しない理由は見当たらないが県内の状況を見て検討したいと考えている。

錦町の学校教育

丸小野

学校教育の現状という事で、まず、錦町の小中学校の児童生徒数の10年前との比較は。

教育振興課

錦町の小中学校の児童生徒数は、令和7年度児童数583人、生徒数325人、合計908人に対し、10年前の平成27年度が児童数693人、生徒数390人、合計1083人であり、10年前と比較すると175人減少している。

丸小野

児童生徒の健康状態は。

教育振興課

3つの項目の比較をしている。肥満傾向は10年前と比較して高くなっている。歯科については虫歯の保有率が高い上に、未処理の方も多いことが伺える。視力についても1.0未満が4割程度いるということで、健康管理については注意が必要だ。

丸小野

学校教育の課題・問題は。

教育振興課

児童生徒の観点からは①錦町に限らず少子化による児童数の減少②支援学級の児童生徒数が大幅に増加している。人吉球磨は特に多い状況③令和2年のコロナ感染症の流行以来、学校を休むことのハードルが一気に低下し、不登校や登校渋りが増加した。教職員の観点からは①教職員不足と定員確保②働き方改革の取組をどの様に進めていくかが主な課題である。

丸小野

学校教育の現状と課題・問題点については理解できた。私が義務教育を受けたのは40年か

ら50年前だが、人生に大きな影響を受けたのは間違いない。時代に沿った教育という観点で何が大事なのか。

教育長

現代の社会は知識基盤社会といわれる社会で、国際化や情報化が急速に進展し、そこで活躍するためには常に新しい知識や情報をアップデートしていく必要がある社会だ。また現代はAIの登場で、今ある多くの職業が大きな変革が求められており、今の子供たちが生き抜いていくこれからの社会は、常に学び直しの機会が来る。その学び直しを可能にするには、義務教育で身につける知識や理解力、考察力はその基本となると考える。

丸小野

「令和7年度錦町小中学校教育努力目標」の冒頭に郷土愛という言葉があるが、まさに私が考える重要なテーマだ。教育長の考えは。

教育長

これからの社会を生き抜いていく上で様々な問題に直面し、その問題を解決する上で、そのよりどころになるその一つが自分が生まれ育った場所・地域だと考える。幼少期・少年期におけ

る地域での体験が、物事を考えていく上で大きな影響を持つことは自明なことだが、郷土愛というのは単にふるさとへの愛着だけでなく、その地域を支えている人、そこで働く人々への敬意や自分に関わる人への感謝の気持ちも含まれていると考える。その郷土への思いや体験が豊かであるほど、地域に対しての誇りを感じることができ、また将来的に地域に残って錦町を支える人材に繋がると考える。



母校の錦中学校

大規模な災害時でも確実な通信手段の確保を。



議員 谷口 かずや
谷口 くにぐち

分団長以上の幹部及び各部の積載車に整備している。

谷口

IP無線機は携帯電話が使える状況範囲でしか使えない。通信手段を補完する上でアマチュア無線活用と自治体として社

団局の開局を望む。

谷口

大規模な災害が当町で起きた時、迅速な対応が取られるように、現在の庁舎・公用車・消防団の無線機器整備状況はどうなっているか。

総務課

災害時の通信手段の多様化という観点から意義があると認識している。運用可能な人材を育成することが先決で、その上で再開局、他自治体との連携についても検討していきたい。

総務課

庁舎は県防災行政無線、災害情報共有システムや国民保護情報や命に関わる自然災害情報を瞬時に伝達する全国瞬時警報システムやその情報を文字情報として伝達するシステムがある。公用車については機器の整備はないが消防団についてはIP無線機を

谷口

他の資格所得補助の様に、消防団員がアマチュア無線

の免許取得するときには補助があればと希望する。



国民保護法に関する状況は

谷口

戦争、侵略に対する国民保護法に基づき、町の整備状況はいかがか。

総務課

国民保護法に係る対策本部等の訓練は国主導で、全国で一斉で毎年複数回、ジェイアラートによる情報伝達試験、安否情報システムを使った国民保護事案及び安否情報の収集提供事務の訓練を行っている。

河川敷内の猪駆除に緊急銃猟制度は利用できないか

谷口

鳥獣保護管理法が一部改正された。河川敷両側の被害に緊急銃猟制度で河川敷の猪は駆除できないか。



猪等の不安のある自転車道

農林振興課

昨年度の捕獲実績は、主に猪二百五十七頭、鹿五百二十八頭で、これらの捕獲実績は殆どが括り罠による捕獲となっている。

緊急銃猟制度では全ての条件を満たす必要があり、制度を活用しての河川敷等に特化した計画的駆除は現状では難しい。捕獲実施隊の方々と連携し、山間部以外でも積極的な括り罠設置を進めて行きたい。

当町の地域医療の現状は

高田 永年木上地区で開業されていた医院が閉院されたが、それに伴い地域医療への影響をどの様に考えるか。

町長 木上地区の医院が閉鎖したので影響がでるのかと心配していたが、現在に於いて、それは無い様だ。その対応として、乗合タクシーの見直しをやってきた。そこで来月から停留所の変更を行い、九ヶ所だった停留所を24ヶ所に増すことにした。それによって木上地区の皆様も乗合タク

シーを利用することで心配事もより解消できると考える。

高田 10月から運行するという事だが、利便性を考えて木上地域だけでも1便増やすとか何かよい方法を考えているのか。

町長 新しく15ヶ所停留所を増やした。それをちゃんと利用していただきたい。それでも何かあった場合は今後しっかりと対応していきたい。

高田 将来的には僻地医療として町営の診療所が必要だと思ふが。

町長 住民がどうすべきかというのを今後皆様方と相談しながら進めていく必要があると考える。

錦町の誘致企業の状況は

高田 誘致企業はその地域の雇用将来的に税として町に収入等があるものだと考えている。なぜ条例等がないのか。

企画観光課 誘致企業等を認定する規定、条例、要綱等はないが、町の誘致企業として位置付けする場合は、町と企業との間で進出立地協定を締結することになっている。

高田 最後になるが、本町に於ける誘致企業の代表格といえば、昭和51年操業の九州武蔵精密(株)と昭和56年操業の熊本日本電気(株)(現ルネサスエレクトロニクス(株))がありピーク時には二社合すると従業員数が現在よりはるかに超えていた。この企業誘致には他市町村からは大変うらやましがられていた。

また当時、県内他市町村からは

球磨郡錦村という片田舎にこれほどの大企業が進出したのか不思議さと羨望の目で見られ、奇跡の企業誘致といわれる程だった。

それから50年経とうとしている。この二社の誘致の恩恵を受けたおかげで今の錦町があるといっても過言ではないと思う。

当時この偉業を成し遂げた先人の方々に心から敬意と感謝を申し上げる。



誘致企業



たかのり 高田 孝徳 議員

事業承継支援について

たけだ のりと 議員
竹田 農利人

合会主導による自治体単位の連携協定については、内容を精査し商工会連合会と協議連帯協定に向け事務を進めて行きたいと考える。

竹田 事業承継は地方の雇用喪失地域経済の衰退を起こしかねない喫緊の課題。錦町の支援メニューの創設、個別相談会等、広報にしき、あいねつとにて町民の方々に周知を。

企画観光課 町内の事業所、商工会等の関係団体、近隣の自治体の状況を踏まえて検討していきたい。

町道松里線について

竹田 町道松里線の交通量、安全確認は。

地域整備課

朝夕の通勤時間

帯に、西小学校、錦中学校、球磨中央高校などへ送迎車両が通行している。また通勤車両が松里線に流れ込むため、町内において交通量が最も多い町道であると認識している。安全確認については、錦町通学路安全推進会議の合同点検を行っており、危険箇所として特定し、交差点のカラー舗装、カラーラインの設置をして通学路を強調、歩行者や自転車への注意喚起を行っている。

竹田 速度注意の看板設置は。

地域整備課 速度注意看板は設置してない。町道松里線は最高速度30kmとする速度規制区間を設けて頂いた。今後、警察と協議を行い実施に向け進める。

竹田 松里線と錦中央線交差点に双方の一時停止は。

地域整備課 警察によると、双方の一時停止は廃止、主導路より交通量の少ない道路を一時停止

としている。安全対策としてカーブミラーの追加設置、停止線の引き直しを近日中に実施する。

竹田 錦中旧正門前の駐車場周辺の方々が通勤時に困っているが。

教育振興課 旧正門横は個人所有であるが、出入りが容易であることから送迎の際利用のされている。しかし危険は増加している。近年通勤車両や送迎車両が行き交う状況なので、今後旧母子センター跡地を利用するように保護者に周知する。



事故が多い交差点

企画観光課

熊本県商工会連

竹田

県内でも事業承継連携支援に関する協定締結しているが、錦町の取組状況は。

企画観光課

球磨地域振興局の主導にて、地域における事業承継等に関する取組を推進するため広域的な連携協定を3月に提携した。

竹田

人吉球磨の持続可能な経済確立へ向け、事業承継支援に広域的な連携協定締結したが、経緯は。

住民を守る・生活を守る

吉田 16分館からイスマミ錦店までの国道219号歩道上に覆いかぶさる樹木伐採について。

地域整備課 現地を確認し、管理者の熊本県に対応の依頼し、一部町有地は伐採撤去した。

吉田 県への要望を。また、地主の方々に寄り添いながら対策を求めたい。体育館の冷暖房施設導入の考えは。

総務課 利用者の快適性や熱中症等の健康被害防止の観点から重要な課題と認識している。まずは学校体育館の整備を行う。



よしだ しんじ 議員
吉田 眞二



安心安全な道路を！

吉田 学校施設に設置し、その後、総合体育館に冷暖房設備の導入検討を求めたい。大王原住宅数戸を災害時の受け入れ施設として確保の考えはないか。

総務課 災害や特別の事情がある場合公募を行わず、空きがあれば可能。

濁水対策

吉田 本年、人吉球磨を除く地域では線状降水帯が発生し甚大な被害が発生している。被災者に優しい町、災害時に選ばれる錦町として数戸の検討を。次に、圃場の大区画化推進の考えは。

農林振興課 大区画化は、高齢化と労働力不足が深刻化する中、大型農業機械やスマート農業の導入による効率化・省力化・生産コストの削減意欲ある農業者の経営発展に寄与するが、面的な大区画より換地を主とした大区画化、集約化が費用対効果を考慮した際に最適と考える。

農業に必要な用水確保

吉田 農水省の調査で10年後耕作者が定まらない農地が全国で3割と明らかになった。1ヘクタール或いは2ヘクタールの大区画圃場なら新規参入者、現在の農業者も耕作しやすいと考える。錦南部地域の水不足で中球磨土地改良区近隣にため池の新設の考えはないか。

農林振興課 大雨時の新たな土砂流失の懸念もあり実行にはハードルが高いと考える。

吉田 ため池が難しいなら水無川上流に農業用利水ダムの考えはないか。

農林振興課 これもハードルが高いと思われるが安定した用水の供給は営農にとって大切なこと。関係機関と検証を進めていく。

吉田 果樹農家の話で水があればとよく聞く。糖度もある、単価もある程度良いが雨が少なく、少し小玉傾向だと聞く。水を散水できればより大玉になり、より高単価での販売ができ収入の増加が見込めると考える。大区画と合わせて錦町の農業のために検討を求める。



図書館の整備と複合施設の建設について



いしまつ まゆこ 議員
石松 まゆ子

の蔵書能力はすでに超えている。

石松 熊本県立図書館との連携により、インターネット予約貸し出しなど図書館のサービスの拡充をされているが、新たな取組として電子図書館の導入や学習・仕事に活用できるWi-Fiの導入計画は。

教育振興課 施設本体の整備を早期に進めるべきと考えているので整備する時に同時に行う。

石松 錦町の図書館は耐用年数も超え、老朽化が進んでいる。また、蔵書数や図書購入費用も国の示す達成すべき数値基準に達していないと考える。さらに、全体のスペースが狭く、学習エリアと子供たちの遊び場が近いため、親子同士のコミュニケーションの場としての環境にはないと考えている。蔵書の収蔵能力や開架冊数、年間図書購入費の現状は。

教育振興課 新刊の購入は年間1,300冊である。蔵書数は3万3900冊数で、うち3分の1は閉架冊数となり、図書館自体

よる心配は尽きない状況。提案の財源や地方創生整備の補助金を活用し、早期に着手できるよう準備を進めていければと考える。

石松 図書館が町にとって有効な施設となるための将来的な考えと展望についてどう考えるか。

教育長 最近建設されている図書館の傾向として、学習や情報収集の拠点のみならず、広く住民の交流が行われ、文化的な豊かさを体験できる施設となっている。錦町が文化・情報の発信拠点となり、生涯学習センターとしての機能を持った施設の誕生を望んでいる。



整備を望む錦町図書館

空き家対策の現状は

石松 国内の空き家率は過去最高の13・8%899万戸。10年後は3軒に1軒が空き家になると言われている。特に長期にわたる放置空き家が問題視されており、近隣住民への悪影響や資産価値の低下、固定資産税の増額（最大6倍）等のリスクがある。錦町の現状は。

企画観光課 空き家調査は行っていない。

石松 実態調査をし、放置されている空き家に対し所有者への指導や命令・住民への啓発等、今後どのように進めるのか。

企画観光課 町政座談会の中で空き家対策についての説明や広報誌への記載、税務通知にチラシを同封して定期的な啓発活動をする。錦町空き家等対策計画に沿って対応する。



錦町消防団との意見交換会

錦町議会では、各種団体との意見交換会を不定期で設けています。

今回は、錦町消防団との意見交換会を開催することになり、小田団長をはじめとして幹部の方々と意見を交わしました。

消防団からの要望として、一、

詰所の維持管理費の増額。二、操法大会およびラッパ吹奏大会の補助、運営費。三、消防団員の資格取得などが示され、現状と課題が報告されました。

要望されたことに関しては、議



意見を述べる消防団幹部



対応する議会議員

員からの異論はなく、団員数減少や資金の分団格差、出動基準などについて質問が出され、町全体で応援していかなければならない、分団再編などの協議、等の意見が出されました。

管轄の町総務課は、来年度以降の予算計上や要求を検討していきたいとし、小田団長からは、「自分たちではどうしようもないことがある。また団員の負担は増してきているという認識を持ち一つずつ解決できれば。」と厳しい現状

を述べられました。

最後に荒川議長から、「皆さんからの意見、要望をしっかりと理解しながら今後の予算編成の中で意見を生かしていきたい。」と述べられて意見交換会を締めくくりました。

今回は、消防団との意見交換会でしたが、今後も各種団体と交流を図りながら意見を交わしてまいります。

(文責 早田 和彦)

厚生文教経済常任委員会 研修報告



令和7年9月25・26日に視察研修、八代市のエコエイトやつしろの施設内視察後、合志市の県農業研究センターを視察した。「明日の熊本農業を拓く」農業技術開発の拠点であり、視察広報案内員宮本氏より県の農業の概要、農研センターの概要等の説明を受けた。水稻の研究成果紹介や高温対策についての説明と現地視察があつ

た。水稻品種育成で交配から8年を得て品種登録出願に至ることを学ぶ。「くまさんの輝き」については17年を要したとの事。高温対策については高温耐性品種の植付、植付時期を遅らす、適切な水管理、適正な施肥等の説明があった。野菜・花などは寒冷紗等を利用し高温対策も必要ではないかと考えさせられた。



県農業研究センター

高森町の森のようちえん、おてんとさん（一般社団法人 S O I）は、一般的な施設型の幼稚園とは違い園児は毎日、森・川・畑に行きその自然の中で様々な経験をし、自然とともに危険なことや楽しいことを知り体験し、友達と一緒に遊ぶことで育ちあつていくことを目指していた。

代表理事中山千春（作業療法士）はじめスタッフの S O I の取り組みは、「自分の幸せを自分で見



森のようちえん「おてんとさん」

出せる子」を目指しておられた。2日間を通して非常に有意義な視察研修となった。

（文責 竹田 農利人）



総務建設常任委員会の研修は、11月に予定しています。

人吉球磨広域行政組合 研修報告



9月29・30日に行われた行政組合議員研修に参加し、最先端のごみ処理施設を視察してまいりました。

まず、初めに紹介するクリーン・

エネ・パーク南部は、福岡都市圏南部地域約60万の住民の燃やせるゴミを安全・安心に処理することはもちろん、国の基準よりも厳しい排ガスの自主規制値を設定し、ゴミの焼却に伴って発生する熱エネルギーを活用し高効率発電を行

い施設の内外で有効活用を図るなど、周辺環境に配慮した施設です。施設の周辺は住宅地となっており、住民が自由に利用できる公園、広場が併設されております。

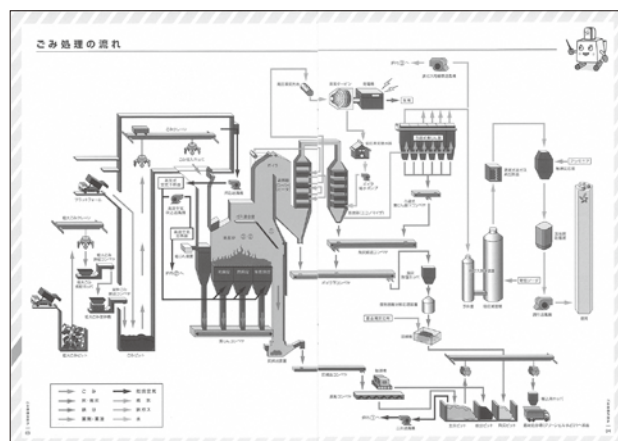
つぎに、久留米市宮ノ陣クリーンセンターは、2016年4月に誕生した最新の施設で安全で安定したゴミ処理を行う拠点となっています。

施設には、焼却施設や破碎選別を有する工場棟、リサイクル棟、



久留米市宮ノ陣クリーンセンター

農地に囲まれたクリーンセンター



環境学習の拠点となる環境交流プラザなどがあり、総合的なゴミ処理を行うほか、環境分野全般に関する学びの場としての役割も担っています。また、施設周辺は田園地帯であるため環境への負荷を軽減し、高度な安全性と安定性を確保した施設となっています。

今回の研修先は、住宅地・農地と接しており、人の生活環境と共生している施設でありました。

人吉球磨クリーンプラザも新設

の計画がありますが、地域住民への十分な説明と環境への配慮、そして環境啓発を兼ね備え、住民活動の交流拠点となるような施設整備を図るとともに、施設を活用した地域の活性化や周辺の賑わいを創出する施設となるよう期待したいと考えます。

(文責 早田 和彦)



基準値内を示している表示板

議会のうごき

7月

- 1日 全員協議会
- 9日 広報特別委員会
熊本県町村監査委員協議会臨時総会・研修会
- 10日 川辺川ダム建設促進協議会総会及び三期成会合同定期総会
例月出納検査（～11日）
- 14日 定例郡議長会
- 15日 決算審査（～8/6）
- 16日 広報特別委員会
- 18日 あさぎり薬草合同会社設立10周年記念式典
- 22日 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修（オンライン）
- 23日 広報特別委員会

8月

- 4日 全員協議会
令和7年第4回臨時会
- 6日 国道219号整備改良促進期成同盟会総会
- 7日 備品監査（西小学校）
- 8日 下球磨町村議会正副議長会総会
- 12日 人吉下球磨消防組合庁舎建設に関する特別委員会
- 19日 例月出納検査（～20日）
- 20日 熊本県町村議会正副議長研修会
- 23日 にしき夏祭り
- 25日 人吉下球磨消防組合議会全員協議会・臨時会
- 26日 ふるさと祭り実行委員会
- 27日 定例郡議長会議
人吉球磨広域行政組合議会定例会
- 28日 全国町村議会広報研修会

9月

- 2日 議会運営委員会
全員協議会
- 9日 令和7年第3回定例会（～18日）
- 11日 金婚夫婦表彰式
- 22日 定例郡議長会
- 24日 例月出納検査（～25日）
- 25日 厚生文教経済常任委員会視察研修（～26日）

広報特別委員会研修報告

8月28・29日に東京渋谷にて令和7年度町村議会広報研修会が開かれ、錦町議会広報特別委員会も参加しました。

3人の講師の方より議会広報誌の作成のあり方について講演があり、インタビューライターの丘村奈央子氏による「インタビュー記事を読ませて読まれる広報誌にしよう」では、住民の方々が知りたいテーマに沿ってインタビューのやり方手法の解説でした。

次に全国広報協会広報アドバイザーの渡

川修一氏による「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」では、動画撮影の基本、効果的な構図構成の解説でした。最後に福岡県大刀洗町議会、議会広報委員長の高山賢治氏による「議会活性化と連動した広報誌づくり」と題して講演があり、広報誌を議会活性化、町民の政治参加へのツールと位置づけ、広報誌の取り組みを伺いました。

研修会等で得た知識を活用工夫を行い、分かりやすい誌面を目指します。

（文責 谷口 一也）

錦町議会だより「ほおじろ」のお詫びと訂正について

令和7年7月30日に発行しました錦町議会だより「ほおじろ（153号）」の内容に、誤りがありました。

次のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】12ページ上段

金山民幸議員のふりがな

（誤）かねやま
（正）かなやま

錦町議会広報特別委員会

委員長 早田和彦

【広報特別委員会】

委員長 早田 和彦
副委員長 谷口 一也

委員 石松まゆ子
竹田農利人
吉田 眞二
議長 荒川 孝一